

# 令和5年度事業報告書

社会福祉法人 小越会

# 目 次

第一. 社会福祉法人小越会基本理念・基本方針	1
第二. 社会福祉法人小越会法人・施設の概要	2
第三. 社会福祉法人小越会経営体制	3
一 評議員	
二 理事	
三 監事	
四 経営運営事業執行体制	
五 各拠点に組織体制	
第四. 中長期計画	7
第五. 令和5年度事業実績	9
一 法人全体・本部	
二 第1種社会福祉事業	
1 介護老人福祉施設	
2 障害者支援施設	
三 第2種社会福祉事業	
1 高齢福祉サービス(在宅)	
2 障害福祉サービス(在宅)	
四 公益事業	
1 居宅介護支援	
2 介護保険法に定める訪問調査	
3 暮らし元気アップ事業	
第六. 各拠点における主な活動実績等	18
一 法人本部	
二 こしじの里しぶみ園	
三 おごしの里	
四 しぶみ工房	

# 社会福祉法人小越会 基本理念・基本方針・行動指針

## 基本理念

- ①当法人小越会は、次の3つの精神を基本理念として社会福祉事業に取り組みます。
  - 1) 『思いやり』のあるサービスの提供
  - 2) 『優しさ』をもったサービスの提供
  - 3) 『愛情』のあるサービスの提供
- ②利用者の人格の尊厳を礎に、利用者本位の福祉サービスを安定した経営環境のもとで提供いたします。
- ③安全で安心できる暮らしの継続をモットーに、地域福祉の拠点として、そして地域のよりどころとしての機能を十分発揮して住民の期待と信頼にこたえます。

## 基本方針

- 1 「利用者に寄り添う心のケアの実践」
- 2 「利用者の人格と尊厳を守れる人材の育成」
- 3 「法令を遵守し安定した経営基盤を醸成」
- 4 「地域貢献を社会福祉法人の使命と捉え、信頼を高める」

## 行動指針

- 1 関わりを持ち、心配りができる心身のケアに努めます。
- 2 笑顔と優しい言葉で接します。
- 3 相手の立場に立って考え、信頼ある行動に努めます。
- 4 安全で安心な生活の継続を支援します。
- 5 差別、虐待、人権侵害を許さず、権利擁護に努めます。
- 6 環境の改善を進め、明るい組織風土づくりに努めます。
- 7 法令を遵守し、福祉の専門職として、その力を発揮します。
- 8 常に自己研さんに努め、小越会の一員として誇りと自覚を持って地域福祉の増進に努めます。

## 第二 社会福祉法人小越会 法人・施設の概要

平成 4 年 5 月	社会福祉法人小越会法人設立認可
平成 5 年 4 月	特別養護老人ホームおごしの里開所
平成 10 年 10 月	特別養護老人ホームこしじの里開所 身体障害者療護施設しづみ園(現 障害者支援施設しづみ園)開所
平成 12 年 4 月	身体障害者通所授産施設しづみ工房(現 障害福祉サービス事業所しづみ工房) 開所
平成 24 年 5 月	特別養護老人ホームこしじの里ユニット増築

### ○社会福祉法人小越会

長岡市不動沢 2 2 1 9 番地 5 代表 TEL0258-41-0801

### ○特別養護老人ホームこしじの里

障害者支援施設しづみ園

長岡市不動沢 2 2 1 9 番地 5 代表 TEL0258-41-0801

介護保険事業

- ・介護老人福祉施設 定員 50 名
- ・介護老人福祉施設(ユニット型) 定員 40 名
- ・短期入所生活介護(介護予防) 定員 20 名
- ・通所介護(介護予防) 定員 28 名
- ・訪問介護(介護予防)
- ・居宅介護支援事業
- ・第一号通所事業

障害福祉事業

- ・施設入所支援・生活介護事業 定員 10 名
- ・短期入所事業 定員 1 名
- ・居宅介護・重度訪問介護・移動支援

### ○特別養護老人ホームおごしの里

長岡市小国町櫛沢 90 番地 代表 TEL0258-95-3110

介護保険事業

- ・介護老人福祉施設 定員 50 名
- ・短期入所生活介護(介護予防) 定員 17 名
- ・通所介護(介護予防) 定員 25 名
- ・訪問介護(介護予防)
- ・居宅介護支援事業
- ・第一号通所事業

### ○障害福祉サービス事業所しづみ工房

長岡市小国町原甲 3 4 8 番地 代表 TEL0258-95-5233

障害福祉事業

- ・就労継続支援 B 型 定員 20 名
- ・共同生活援助 かわばた寮 7 名 ひまわりの家 6 名
- ・地域活動支援センター 定員 10 名

### 第三 社会福祉法人小越会経営体制

- 一 評議員 7名
- 二 理事 6名
- 三 監事 2名

#### 評議員会

##### 第1回評議員会

開催日：令和5年6月14日 開催通知日：令和5年5月26日

出席 評議員6名 理事6名 監事2名

第1号議案 令和3年度社会福祉法人小越会事業報告について

第2号議案 令和3年度社会福祉法人小越会決算について

第3号議案 社会福祉法人小越会社会福祉充実残額について

第4号議案 社会福祉法人小越会理事の選任について

第5号議案 社会福祉法人小越会理事の選任について

第6号議案 社会福祉法人小越会理事の選任について

第7号議案 社会福祉法人小越会理事の選任について

第8号議案 社会福祉法人小越会理事の選任について

第9号議案 社会福祉法人小越会理事の選任について

第10号議案 社会福祉法人小越会監事の選任について

第11号議案 社会福祉法人小越会監事の選任について

##### 第2回評議員会

開催日：令和6年3月21日 開催通知日：令和6年3月13日

出席 評議員6名 理事6名 監事2名

第1号議案 社会福祉法人小越会定款の一部を改正する定款について

第2号議案 報告1 令和6年度社会福祉法人小越会事業計画

報告2 令和6年度社会福祉法人小越会当初予算

#### 理事会

##### 第1回理事会

開催日：令和5年6月1日 開催通知日：令和5年5月11日 出席：理事5名 監事2名

第1号議案 令和4年度社会福祉法人小越会事業報告について

第2号議案 令和4年度社会福祉法人小越会決算について

第3号議案 社会福祉法人小越会社会福祉充実残額について

第4号議案 社会福祉法人小越会理事の選任について

第5号議案 社会福祉法人小越会監事の選任について

第6号議案 令和5年度第1回評議員会の開催について

第7号議案 報告 職務執行報告について

##### 第2回理事会

開催日：令和5年6月14日 開催通知日：令和5年6月1日 出席：理事6名 監事2名

第1号議案 社会福祉法人小越会理事長の選定について

第2号議案 社会福祉法人小越会業務執行理事の選定について

第3号議案 社会福祉法人小越会評議員選任・解任委員の選任について

第4号議案 令和5年度工事の契約について

##### 第3回理事会

開催日：令和5年9月27日 開催通知日：令和5年8月30日 出席：理事6名 監事2名

第1号議案 社会福祉法人小越会就業規則の一部を改正する規程について

- 第2号議案 社会福祉法人小越会給与規程の一部を改正する規程について
- 第3号議案 社会福祉法人小越会パートタイマー・非常勤職員（臨時職員）等の就業規則の一部を改正する規程について
- 第4号議案 社会福祉法人小越会パートタイマー・非常勤職員（臨時職員）等の賃金規程の一部を改正する規程について
- 第5号議案 居宅介護支援運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第6号議案 積立資産並びに積立資金の取り崩しについて
- 第7号議案 社会福祉法人小越会補正予算について
- 第8号議案 令和5年度委託契約について
- 第9号議案 報告 職務執行報告について

#### 第4回理事会（書面）

開催日：令和5年10月30日 開催通知日：令和5年10月30日

書面同意：理事6名 監事2名

- 第1号議案 訪問介護運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第2号議案 指定障害福祉サービス事業（指定居宅介護並びに指定重度訪問介護）運営規程の一部を改正する規程について

#### 第5回理事会

開催日：令和5年12月13日 開催通知日：令和5年11月17日 出席：理事6名 監事2名

- 第1号議案 社会福祉法人小越会補正予算について
- 第2号議案 報告1 令和5年度中間時報告について
- 報告2 職務執行報告について

#### 第6回理事会

開催日：令和6年3月13日 開催通知日：令和6年2月14日 出席：理事6名 監事2名

- 第1号議案 社会福祉法人小越会給与規程の一部を改正する規程について
- 第2号議案 指定介護老人福祉施設運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第3号議案 指定介護老人福祉施設運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第4号議案 指定介護老人福祉施設運営規程（こしじの里ユニット）の一部を改正する規程について
- 第5号議案 指定短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第6号議案 指定短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第7号議案 指定通所介護運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第8号議案 指定通所介護運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第9号議案 指定訪問介護運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第10号議案 指定訪問介護運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第11号議案 介護予防通所サービス運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第12号議案 介護予防通所サービス運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第13号議案 介護予防訪問サービス運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第14号議案 介護予防訪問サービス運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第15号議案 指定居宅介護支援事業運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第16号議案 指定居宅介護支援事業運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第17号議案 暮らし元気アップ事業運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第18号議案 暮らし元気アップ事業運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第19号議案 障害福祉サービス事業所しぶみ工房（就労移行支援、就労継続支援B型）運営規程の一部を改正するについて

- 第20号議案 指定共同生活援助（介護サービス包括型）運営規程の一部を改正するについて
- 第21号議案 報告 職務執行報告について
- 第22号議案 積立資産並びに積立資金の取り崩しについて
- 第23号議案 社会福祉法人小越会補正予算について
- 第24号議案 社会福祉法人小越会事業計画について
- 第25号議案 役員賠償補償の加入について
- 第26号議案 社会福祉法人小越会当初予算について
- 第27号議案 令和5年度第2回評議員会について

**法人監査**

令和4年度決算 監事 高橋芳充 桑原文昭

実施日： 5月23日 おごしの里、しぶみ工房

24日 法人本部、こしじの里、こしじの里ユニット、しぶみ園

令和5年度中間 監事 郷 礼子 大橋春昇

実施日：11月15日 おごしの里、しぶみ工房

16日 法人本部、こしじの里、こしじの里ユニット、しぶみ園

**四 社会福祉法人小越会 経営運営事業執行 体制**

◎理事会

◎経営運営会議 理事長 業務執行理事 施設長 本部事務局

◎法人本部

事業		事業の種類	施設名
社会福祉事業	第1種	特別養護老人ホーム	こしじの里
			こしじの里ユニット
			おごしの里
		障害者支援施設	しぶみ園
	第2種	老人デイサービス事業	こしじの里
			おごしの里
		老人短期入所事業	こしじの里
			おごしの里
		障害福祉サービス事業	こしじの里（居宅介護・重度訪問）
			しぶみ園（短期）
			しぶみ園（生活介護）
			しぶみ工房（就労継続支援事業B型）
			かわばた寮
		ひまわりの家	
老人居宅介護等事業	こしじの里		
	おごしの里		
移動支援事業	こしじの里		
地域活動支援センター	しぶみ工房		
公益事業	居宅介護支援事業	こしじの里	
		おごしの里	
	訪問調査事業	こしじの里	
		おごしの里	
	介護保険法に基づく第一号通所事業	こしじの里	
		おごしの里	

※体制に関わる名簿は別紙

## 五 各拠点における組織体制

拠点区分：法人本部

業務執行理事	本部事務局長 松田宏基 所管：法人本部・おごしの里・しぶみ工房
	本部事務局次長 杉本あさ子 所管：法人本部・こしじの里・こしじの里ユニット・しぶみ園

拠点区分：こしじの里・こしじの里ユニット・しぶみ園

統括責任者 杉本あさ子	
施設長 杉本あさ子 管理者 伊佐有紀子	
総務課	庶務係・財務係・管理係
生活相談課	生活相談係
高齢介護課	介護支援係・入所介護係・短期入所介護係
看護課	看護係・機能訓練係
在宅介護課	通所介護係
	訪問介護係
居宅介護支援課	居宅介護支援係
障害福祉課	生活支援係
給食栄養管理課	栄養管理係・調理係

拠点区分：おごしの里・しぶみ工房

統括責任者 松田宏基	
施設長 種部厚子 管理者 久保田輝夫 小川 毅	
総務課	庶務係・財務係・管理係
生活相談課	生活相談係
高齢介護課	介護支援係・入所介護係・短期入所介護係
看護課	看護係・機能訓練係
在宅介護課	通所介護係
	訪問介護係
居宅介護支援課	居宅介護支援係
給食栄養管理課	栄養管理係・調理係
障害福祉課	生活支援係・就労支援係

## 第四 中長期計画

### 一 課題への取組み

当法人の基本理念は、大きく3つの構成から成り立っています。一つ目は、『思いやり』のあるサービスの提供、『優しさ』をもったサービスの提供、『愛情』のあるサービスの提供」と私たちが福祉の活動を行うにあたり、その姿勢を示しており、利用者に寄り添う心のケアの実践を目指します。二つ目は、「利用者の人格の尊厳を礎に、利用者本位の福祉サービスを安定した経営環境のもとで提供する」。利用者の人格と尊厳を守れる人材により、安定した持続可能な経営基盤のもと、福祉サービスを継続できるように取り組むことを目指します。三つ目は、「安全で安心できる暮らしの継続をモットーに、地域福祉の拠点として、そして地域のよりどころとしての機能を十分発揮して住民の期待と信頼にこたえます。」。これは、当法人が、地域貢献を社会福祉法人の使命と捉え、事業の透明性を確保しながら、様々な視点から安全と安心を追求し、信頼を高めるよう取り組み、地域生活の継続的な実現に寄与することを目指しています。これを、行動指針に基づき、行動できる人材により、基本理念の実現にむけ、取り組んで参ります。今般、少子高齢化、地域・福祉を支える人材の不足等、地域における課題は山積しており、当法人の経営運営においても、地域の課題は、経営運営に大きく影響して参ります。当法人が継続的に経営運営を行うため、また、私たちの活動においても、広く理解を頂けるようあらゆる情報を発信していく必要もあります。これらを踏まえ、当法人の基本理念・基本方針の実現のため、次の項目を当面の重点課題と位置付け、取り組んでまいります。

※法人の基盤確保のため、原則、継続案件と新規取組の構築により目標を定める。地域生活の継続的な実現に寄与すること自体が地域貢献であり、それに伴い、継続的に経営運営を行うことも地域貢献の一つである。そのため、適正な財務基盤のもと、福祉人材を確保し、サービスの質を担保する。これらを総合的に俯瞰しながら、法人運営の持続性を確保する。

- 一. サービスの質の向上に向けた取組み
- 二. 福祉人材の確保・維持
- 三. 財務・資産管理の強化
- 四. 法人運営の持続性の確保

### 二 中期的な取組み 期間：令和3年度から令和5年度

長期的な課題に対応すべく、介護保険計画年度等に併せ、取組みを行います。期間は、令和3年度から令和5年度とします。

※中長期計画の最終年度となるため、事業実績の集計や事業目標の評価に基づき新たな課題の選定など計画の取り纏めを行う。

#### 【目標】

- 一. サービスの質の向上に向けた取組み
  - 1 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化
  - 2 安全と安心の追求～権利擁護とリスク管理の視点から～
  - 3 基本理念・基本指針に基づき第三者評価を指標とした自ら取り組むサービスの質の向上
  - 4 見える化・地域貢献活動の継続
- 二. 福祉人材の確保・維持
  - 1 職員の適正配置による人材の確保及び人材育成
  - 2 業務の適正化
- 三. 財務・資産管理の強化
  - 1 収支差額の確保
- 四. 法人運営における持続性の確保
  - 1 経営組織の強化と事業運営の透明性の確保
  - 2 法人運営・地域環境における持続可能な経営取組

## 一. サービスの質の向上に向けた取組み

### 1 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化

利用者個々に応じた課題に適切に取り組む。身体的支援・生活支援などに応じた介護・自立支援の取組み

### 2 安全と安心の追求～権利擁護とリスク管理の視点から～

事故防止・感染症対策・虐待防止・防災・身体拘束廃止など各法令・基準等で求められて事項を法人共通の認識事項として対応。不適切行為に対する基本的認識と技術的スキルの向上

### 3 基本理念・基本指針に基づき第三者評価を指標とした自ら取り組むサービスの質の向上

第三者評価項目に基づいた取組みを継続して実施する。また、ある程度の目標がクリアされれば、再度、客観的な評価を受審することも検討する。

### 4 見える化・地域貢献活動の継続

各事業所におけるアンケート調査の継続。調査内容については、事業所の評価・満足度が高い点、低い点に対応した項目とし、シンプルなものにする。説明した内容など確認できる手法の構築。地域貢献活動においては、感染症に配慮した取組みと災害対応などにおける取組みの啓蒙など、新たな活動を模索する。

## 二. 福祉人材の確保・維持

### 1 職員の適正配置による人材の確保及び人材育成

総職員200名の体制維持を継続。新人職員の初任者研修、実務者研修、介護福祉士の取得の流れは継続する。採用活動においては、新卒職員を中心に行い、職種により、別途、採用活動を行う。介護支援専門員、社会福祉士などの資格取得に向けた支援の強化を行う。中堅職員については、管理的立場への登用も含め、役割、責任を明確化し、研修においても、階層的に行えるよう対応する。配置転換も積極的に行う。さらに、経営運営分野への登用を見据えた人材の育成も行う。これらを踏まえ、各種法令遵守等、加味し、規則、規程等を整備し活用する。

### 2 業務の適正化

業務の合理化を推進し、システムの活用など、導入に向け検討または対応を継続して行う。併せて、働き方改革の推進を図り、業務の分業化、適切な配分のもとサービスを中心とした業務の適正化を図る。

## 三. 財務・資産管理の強化

### 1 収支差額の確保

法人全体での収支差額確保を目指す。

第一 当期資金収支差額の確保(積立支出・比較的大きな修繕・固定資産の購入は加味。)

第二 経常増減差額の確保

事業運営の継続性を維持していくためには、安定した資金確保が必要なため、一定の目標を定めて運営を行う。第1の目標として、法人単位資金収支計算書における当期資金収支差額の確保を目指す。ただし、将来に備えた積立、今後、発生する修繕費用、固定資産の購入における支出は加味しながら、収支差額の確保における判断とする。第2の目標は、経常増減差額の確保に努める。償却費用が大きいため、可能な限りその留保に努める。

## 四. 法人運営における持続性の確保

### 1 経営組織の強化と事業運営の透明性の確保

### 2 法人運営・地域環境における持続可能な経営取組

定款等に基づき、適正な法人運営に努める。また、必要な情報開示においては、法令、基準等に準じ、対応する。少子高齢化が進み、地域における人口が減少する中で、いかに地域において、働き手を確保しながら、継続したサービスを提供し、適正な経営ができるか検討する。併せて、地域の需要を把握し、サービス供給量とのバランスの適正化を検討する。

## 第五 令和5年度事業実績

### 一 法人全体・本部

#### 〔法人全体〕

#### 一. サービスの質の向上に向けた取組み

令和3年度介護報酬改定における改定事項への対応として、感染症や災害が発生した場合であっても必要なサービスを継続して提供できるよう業務継続計画（BCP）を全ての法人内事業所において策定し、令和6年度から計画に基づく研修・訓練を行う準備を整えました。感染症や災害リスクへの対応は常時必要な状況であるため、実践を踏まえた計画の実行と定期的な計画の見直しを継続して行います。自立支援の取組みとして掲げております、科学的介護情報システム LIFE の活用については、法人内事業所での運用が始まり関連加算の算定も進んでおります。データの活用が始まっている事業所においては LIFE を業務ツールとして PDCA サイクルにより職員が同じ判断基準で行動・評価できるよう継続して取組み、今後導入する事業所においてはケアの質の向上意識が職員へ浸透するよう現場マネジメント層が中核となり取組みを進めます。利用者・入所者の人権の擁護・虐待防止等の観点から法人共通の指針に基づいた取組みを進め、虐待や不適切行為の未然防止を行っております。障害事業に続き高齢事業においても虐待防止の取組みが義務化されたため、規程の整備を行い、発生・再発を防止する体制を整備いたしました。また、認知症についての理解促進のため、無資格の直接介護職員に対して認知症介護基礎研修の受講を実施しております。

#### 二. 福祉人材の確保・維持

人材の確保維持については、新卒採用に向けた就職ガイダンスへの参加や施設見学会の開催などを行いましたが、新卒者の確保には至りませんでした。中途採用者については、紹介会社等を活用し補充はいたしました。採用者に対して退職者が上回る状況のため、法人全体の職員数は減少しております。新たに資格を取得した職員もおりますが、有資格者の退職もあるため、減員により人員配置上の加算算定に影響がでてきております。内部異動や業務分担の見直しなどを行い対応しておりますが、将来的な人員配置を考えると計画的な採用が必要であるため、資格取得支援や専門職確保についての支援費用や採用経費を予算化しながら継続した取組みを行います。また、採用が困難な状況が続いているため、人材だけではなく介護ロボット・ICT 機器の活用、施設内グループウェアの導入などを進めることにより、サービスやコミュニケーションの向上を図ることができました。今後も介護ロボット・ICT 機器の導入を加速させ、職員の生産性の向上や負担軽減を図りながら人材の維持に努めてまいります。処遇改善にも積極的に対応し、国の補助金や報酬上の加算を原資としたベースアップの実施や、俸給表の切替え、初任給基準の見直しなど規程の改正を行いました。

#### 三. 財務・資産管理の強化

収支状況については、物価・エネルギー高騰の影響は昨年ほどの増加は見られませんでした。未だ高止まりの費用も見受けられます。賃上げの影響により様々な経費に人件費の上昇分が上乗せされているため、全体の経費支出は増加している状況です。そのため、行政からの支援金や補助金を積極的に活用し、設備改修や更新整備事業を実施いたしました。サービス利用については、感染症の影響や利用者の減少により安定せず、全体の収入は前年よりも減少いたしました。近年は利用実績の変動が大きく予算差異が増大するため、収支予算はより厳しく管理しながら執行状況の確認を行いました。結果的に法人全体の資金収支並びに事業活動収支はマイナス計上となりましたが、事業活動収入に対して人件費を含めた経費支出の適正化を図りながら財務資産管理を強化したため、前年対比ではマイナス額を減少させることができました。施設整備等の事業については緊急性や必要性を考慮しながら執行いたしました。事業内容としては、こしじの里しづみ園においては、構内消雪用さく井・消雪用取水工事、給湯器更新工事、Wi-Fi アクセスポイント新設工事などを行っております。おごしの里しづみ工房では、高圧引込ケーブル更新工事、照明 LED 化工事、作業室改修工事を行っております。

#### 四. 法人運営における持続性の確保

法人における会議等の開催状況は、評議員会については2回、理事会は書面も含み6回開催しております。拠点管理、執行体制についても、法人本部を中心とした運営体制により各拠点との情報集約を円滑に行うことができました。今年度は法人30周年を迎えた中で、将来を見据え未来に向

け「何を繋げ」「何を残すか」を考えながら記念事業の企画検討を行い、永年勤続30年表彰式、記念品の制作、ホームページのリニューアル、広報誌の特集などを実施いたしました。毎月の経営運営会議においても持続可能な法人・事業の在り方を検討し、地域や社会状況の変化に合わせたサービス展開や各拠点の实情合わせた事業の検討を行いました。その中において将来的な事業の継続と安定的な経営を考え、給食業務の委託化を検討し、次年度から業務委託への移行を実施しました。

#### 【法人本部】

理事会、評議員会の開催計画・執行、定例会の経営運営会議の開催を中心に運営いたしました。法人の中長期計画の最終年度であるため、3年間の実績の取り纏めと評価、そして新たな計画策定に向けた課題の抽出作業を行いました。長期的な課題に対応すべく介護保険事業計画年度に併せて取り組みを行うため、介護報酬並びに障害サービス改定事項の基本的な考え方や視点に基づき取り組み目標の設定を行っております。採用活動については、民間企業などの就職情報サービスを活用しながら新卒者、中途者の採用を行いました。採用活動は年々厳しさを増しており、新卒者の確保は至難の業となっております。人材確保への活動は継続的に実施することができておりますが、新たな手法や多様な人材への採用活動も検討いたします。業務管理体制については、9月に県から業務管理体制の整備に関する検査の実施があり点検の結果支障なしとの通知をいただきました。また、11月には長岡市による社会福祉法人指導監査が実施され監査の結果指摘事項はありませんでした。引き続き法令遵守に努め適切な運営を行います。

## 二 第1種社会福祉事業

### 1 介護老人福祉施設

老人福祉法並びに介護保険法の規定により、入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づき、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。

#### 実施拠点

「こしじの里」	定員 50名
「こしじの里ユニット」	定員 40名
「おごしの里」	定員 50名

#### 【取組事項】

- (1) 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化し、安全と安心の追求を図る
- (2) サービス提供環境の見直し・整備
- (3) サービスの可視化に向けた取り組み。
- (4) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (5) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

#### 【こしじの里】

平均稼働は従来型が47.2名、ユニット型37.9名でした。入院者が従来型においては1ヶ月4.4名、ユニット型では3名おり、入退所者が従来型で11名、ユニット型においては18名と約半分の入所者の入れ替わりがありました。また従来型、ユニット型合わせて年間を通して3回のクラスターが発生しました。クラスターの発生により、入退所の入れ替わりに時間を要したことも稼働低下の要因であると考えています。

新型コロナウイルス感染症が感染法上、5類に移行したことに伴い、ボランティア活動や長岡市の介護相談員の受入といった地域社会との交流を徐々に再開させました。喫茶ひまわりや紙芝居といったボランティア活動や対面面会、家族との外出・外泊も再開し、久しぶりに家族との時間を楽しまれた利用者もいらっしゃいました。その一方で園内においてコロナのクラスターも発生しております。長期利用者が延べ34名、新型コロナウイルスに罹患しました。入院を要した利用者が1名おりましたが、その他の罹患者は全員、園内療養で対応しました。コロナ前の日常に戻る今、基本的感染対策を徹底し、クラスター発生時には感染症のBCPに基づき対応し、速やかに通常のサービス提供体制に戻れるように努めて参ります。

令和6年1月には眠りスキャンを3台導入しました。導入後の職員アンケートでは、利用者の睡眠、

呼吸、心拍等、利用者の行動を把握し、ケアに繋がれたと回答した職員が全体で4割、業務負担軽減に繋がったと回答した職員は2割程度でした。限られた台数、期間ではありましたが、利用者の睡眠状況から覚醒パターンが把握でき、利用者の行動を予測して対応することができました。台数が増加することにより、さらなる効果を期待しております。科学的介護情報システムLIFEから得た利用者情報と合わせて、効果的に活用していきたいと考えています。また、起立補助リフトを新たに2台購入したことにより、既存の移乗用リフトの使用と合わせて、ノーリフティングケアを進め、利用者の自立支援に繋がるサービスの提供に努めます。

職員間の連絡・情報共有のツールとして連絡用アプリ「エルガナ」や業務データの共有と管理を目的にNTTの外部ストレージ「コワークストレージ」を導入・運用を始めました。スマホやIパッドでいつでも情報が閲覧できる仕組みとペーパーレス化を目的として使用しています。令和6年度はこのアプリを使用して情報共有と業務の効率化を図ってきたいと考えています。また、家族との連絡ツール「メルタスファミリー」の登録者数も増えており、家族からも「使いやすい」と好評を得ています。今後は職員の使用権限を増やし、業務における活用の幅を広げていきたいと考えています。令和5年7月、利用者への職員の言動に対して、家族から苦情が上がりました。また令和6年1月にはユニット型において高齢者虐待と判断されるケースがありました。虐待の種類は身体的虐待と介護世話の放棄放任です。改善のための研修計画は長岡市へ提出し、計画に沿って対応しております。改めてこしじの里・しぶみ園全体として虐待防止の取組みに努めて参ります。

#### 【おごしの里】

入院者が多く、延べ入院者数は194人。退所者16人と多い状況で実績は41.5人/日。退所から入所までの期間短縮のため広域申込者も含め情報更新、情報収集に取り組みましたが、昨年度より4.3人/日減少した実績でした。サービスの向上に繋げるため、家族協力会アンケート調査を実施。サービス内容や対応に関して、8割以上の方から満足しているとの回答。的確な情報提供に関しての項目でも9割以上の方から理解しやすいとの回答を頂くことができました。利用者懇談会をご利用者対象に開催。日常の活動に関して季節折々の行事では全体開催の他、離床が難しいご利用者の居室へ個別に職員が伺いにぎやかな行事の雰囲気を感じていただく等の開催方法の工夫も積極的に実施。施設の対応に関しては、多くのご利用者が満足しているとの回答、交流活動を楽しみたいとの意見もあったため検討を進め、実現できるよう取り組んでまいります。

面会については、対面面会を実施。常時オンライン面会可能な環境を整備。遠方のご家族の希望や終末期の貴重な時間の充実のため職員間で多様な方法を工夫し、延べ226件に対応しました。地域との連携強化に向けての取り組みでは、小国支所地域で独居・高齢者世帯中心に配布されている「ほのぼの通信」においておごしの里、併設型短期入所生活介護も含め当事業所の特色についての紹介、市認知症カフェ委託事業オレンジカフェの事業内容等情報を発信しました。感染症対策では昨年度の検証を生かし、施設内への持ち込みがないよう体調観察を徹底。感染症の集団発生はみられず安心して過ごしていただける日常を提供することができました。感染症対策、災害対策への対応力向上のためBCPに基づいて訓練、研修を実施。有事に適切な対応ができるよう取り組みました。特に災害対策では、原子力防災机上訓練を実施。原子力災害時の役割分担、行動手順等を確認し合い、安全な体制づくりに努めました。その他、職員の認知症介護基礎研修や介護福祉士実務者研修等資格取得支援にも積極的に取り組みました。

## 2 障害者支援施設

障害者総合支援法の規定により、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう入浴、排せつ、食事の介護、創作活動又は生産活動の機会の提供その他必要な便宜を適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ります。

### 実施拠点

「しぶみ園」 定員 10名

### 【取組事項】

(1)身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化し、安全と安心の追求を図る

- (2) 第三者評価項目の継続的な取り組み
- (3) 虐待防止に関する取り組みを組織的に行う。
- (4) 取り組みの評価を定期的に行う。
- (5) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (6) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

#### **[しづみ園]**

入院者等なく年間を通して安定した稼働を維持できました。6月には新潟県身体障害者施設協議会上中越地区オセロ交流会の当番施設として、しづみ園にてオセロ交流会を開催しました。利用者の判断能力低下や身元引受人である家族の高齢化に伴い、成年後見人制度の活用が急務となり、本人や家族等と相談のうえ、2ケースを後見制度活用へ繋げることができました。この事例を通して、市町村窓口やNPO法人等の関係機関と協力体制を築くことができ、課題である身元保証人、身元引受人不在者への対応の自力を付けることができました。新型コロナウイルス感染症が感染法上、5類に移行したことに伴い、面会、外出、外泊を再開しました。家族との交流機会が増え、利用者の精神的安定にも繋がりました。園内においてフリーWi-Fiの環境を整備し、利用者がインターネットを活用しやすい環境を整備しました。口腔体操の動画を見てもらい、口腔の重要性を理解してもらうように働きかけました。今年度は2名の介護福祉士の第一段階実習の受入れを行いました。

### **三 第2種社会福祉事業**

#### **1 高齢福祉サービス(在宅)**

##### **(一)短期入所生活介護(介護予防)**

老人福祉法並びに介護保険法の規定により利用者が可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

##### **実施拠点**

「こしじの里」定員 20名

「おごしの里」定員 17名

##### **【取組事項】**

- (1) 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化し、安全と安心の追求を図る
- (2) サービス提供環境の見直し・整備
- (3) サービスの可視化に向けた取り組み。
- (4) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (5) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

##### **(二)通所介護(総合事業)**

老人福祉法並びに介護保険法の規定により利用者が可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

##### **実施拠点**

「こしじの里」定員 28名

「おごしの里」定員 25名

##### **【取組事項】**

- (1) 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化し、安全と安心の追求を図る
- (2) サービス提供環境の見直し・整備
- (3) サービスの可視化に向けた取り組み。

- (4) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (5) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

### (三)訪問介護（総合事業）

老人福祉法並びに介護保険法の規定により利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行います。

#### 実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

#### 【取組事項】

- (1) 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化し、安全と安心の追求を図る
- (2) サービス提供環境の見直し・整備
- (3) サービスの可視化に向けた取り組み。
- (4) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (5) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

#### [こしじの里]

訪問介護においては、年間を通して施設入所や入院、死亡により契約終了となるケースが多く、結果実績が昨年度より2.5名の減となりました。新規契約するもサービス提供が短期間で終了するなど実績に結び付かないケースが多数ありました。居宅介護支援事業所へは継続して空き状況を伝えています。令和6年1月1日に発生した能登半島地震では単身世帯、高齢者世帯へ安否確認を行い、「安心した」との声が多数聞かれました。今後も災害BCPに基づき対応していきます。令和6年2月からは職員体制を4名から3名へ変更し、対応しております。

通所介護においては、昨年度と同等の実績でした。ADL維持等加算Ⅰの算定申し込みを行い、評価を開始し、10項目の基本的日常生活能力のうち、「整容」と「入浴」のADL利得が低いという評価結果が出ています。この結果を受けて、利用者自らが身の回りのことを自分で行えるような環境整備の取組みを始めました。今後も継続して取り組み、利用者のADLを高め、自立度の向上に向けた支援に努めて参ります。

短期入所においては、平均稼働が17.1名であり、前年度より1.5名の減でした。新型コロナウイルス感染症のクラスターが7月には併設の特養で発生、9月には通所介護と短期入所生活介護において発生しており、感染対応期間として、約3週間を費やしました。感染症の収束に注力するため、短期入所においては受け入れを一部制限しました。入院等で長期間利用を休止している利用者や冬期間は自宅を離れて介護老人保健施設等を利用するケースが11件、特養入所や死亡等により契約終了となったケースが38件あり、新規契約者数の47件を上回る数となりました。また新規利用者は短期間の利用希望者が多く、こうした複合的な要因から稼働が低下したと考えています。感染者が発生したとしても、施設内においてクラスターを発生させないように、基本的感染対策を徹底し、クラスターが発生時には感染症BCPに基づき、速やかに通常のサービス提供体制に戻れるように努めて参ります。

#### [おごしの里]

短期入所生活介護（介護予防）では稼働率は平均7.1人/日であり、昨年度より2.0人減少。要支援のご利用者割合も昨年度と比較し増加しました。安心と安全の追及に向けた取り組みでは、介護機器等の活用を継続。転倒リスクが高いご利用者を対象に、見守り支援センサーカメラを使用。事故発生件数は昨年度と比較し増加はなく、事故防止への成果がみられました。地域での介護保険サービス利用状況では小国地域内、特に山間部、豪雪地域にある上小国地域等からの利用希望に対して併設型SS事業においては他事業所では地理的条件で受け入れが難しい場合もあるとの事例があるため、可能な限りの受け入れを実施。地域内でサービス提供を行う限られた事業所の一つとして、今後も地域の実情から当事業所へ求められる受け入れ体制が維持できるよう取り組みます。

通所介護（総合事業）では平均20.2人/日の実績であり、昨年度より0.8人/日増加。令

和6年2月には感染症発生もありましたが対策実施により感染拡大防止ができ、11日間で終息。その後は比較的安定し営業することができました。サービスの可視化に向けた取り組みとして健康管理、苦情・相談、利用者急変時・介護事故マニュアル（送迎時）等各種マニュアルの見直しを実施。係内における認知症ケア研修実施等の他、認知症介護基礎研修や介護福祉士実務者研修受講への支援等職員の資格取得援助にも積極的に取り組みました。今年度は「また来たいと思えるデイサービスを目指します。～心も体も元気になれるデイサービス～」を目標に掲げ、係内会議の他、ミーティングの開催頻度を増やし情報共有を強化する等改善への取り組みを進めました。ご利用者ニーズとしては交流、他者との会話を楽しみに利用されているご利用者が多いことから、余暇活動時や時には職員が介入して話題提供、他ご利用者との交流が円滑にできるよう援助に努めました。

訪問介護（総合事業）では平均6.6回/日の実績であり、昨年度より1.7回/日減少。サービス向上に繋げるためにアンケート調査を実施。信頼関係構築のために不可欠な「接遇に関する項目」では8割以上のご利用者から適切であるとの回答。また、「現在利用しているサービスに関する項目」では9割以上のご利用者から満足しているとの回答を頂くことができました。サービス提供における虐待防止への取り組みとして、援助時の声かけに関して相手側の受け取り方、その場の状況等援助する上での配慮事項を再確認。事故防止のための取り組みとしてヒヤリハット報告書の発生原因分析、再発防止策、防止策実施後の検証を継続。転倒防止、火災発生防止等ご本人や介護者の協力を得ながら改善策を実施することにより事故発生はみられず、事故防止への効果につながっております。また腰痛予防研修、メンタルヘルス研修、ハラスメント防止、認知症ケア係内研修を実施し、職員の資質向上にも積極的に取り組みました。市医療・介護連携システムであるフェニックスネットに関しては2名の活用実績があり、医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所との情報共有、連携を継続できました。

## 2 障害福祉サービス(在宅)

### (一)短期入所

利用者に対し、短期間の入所を行い、入浴、排せつ又は食事の介護等その置かれている環境に応じて、必要な支援を適切に行うことにより、自立と社会活動への参加を促進する。

#### 実施拠点

「しづみ園」 定員1名

#### 【取組事項】

- (1) 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化し、安全と安心の追求を図る
- (2) 第三者評価項目の継続的な取り組み
- (3) 虐待防止に関する取り組みを組織的に行う。
- (4) 取り組みの評価を定期的に行う。
- (5) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (6) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

### (二)居宅介護・重度訪問・移動支援「こしじの里」

利用者が居宅において日常生活を営むことができるよう、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる適切かつ効果的に行う。

#### 実施拠点

「こしじの里」

#### 【取組事項】

- (1) 身体機能、生活機能など利用者個々に着目した介護・自立支援の取組み強化し、安全と安心の追求を図る
- (2) サービスの可視化に向けた取り組み。
- (3) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (4) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

## [しぶみ園・こしじの里]

しぶみ園においては前年度より実績は微減ではありますが、新規契約者もおり、安定してサービス提供ができています。日頃から相談支援事業所と連絡を取り合い、利用希望者には施設見学や施設紹介の動画を見てもらう等、サービス利用に繋がるように支援しています。

フリーWi-Fiの環境を園内に整備し、利用者からはインターネットを使用できる環境が整い、使い勝手が良いと好評を得ています。

居宅介護においては、現在3名の登録者がおり、安定したサービス提供ができています。障害特性を見ながら、在宅生活が継続できるよう、個別支援計画に基づき、自立支援介護の提供に努めています。

### 3 就労支援事業

#### (一) 就労継続支援B型

障害者総合支援法の規定により、利用者の自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な就労支援並びに日常生活支援等の提供を確保し、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

##### 実施拠点

「しぶみ工房」 定員 20名

##### 【取組事項】

- (1) 地域における多様な就労支援ニーズに対応するとともに、相談支援機能を強化し、安全と安心の追求を図る。
- (2) サービスの可視化に向けた取り組み。
- (3) 自立のための利用者支援
- (4) 社会参加と地域との交流
- (5) 生活環境の整備と安全性の確保
- (6) 安定した経営のための取り組み

#### (二) 共同生活援助

利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の身体、精神の状況、置かれている環境に応じて、共同生活住居における食事の提供、相談、入浴排泄又は食事の介護、その他の日常生活上の支援を適切に行う。

##### 実施拠点

「かわばた寮」 定員 7名

「ひまわりの家」 定員 6名

##### 【取組事項】

- (1) 重度化・高齢化などに伴う障害者ニーズへの対応、相談支援機能を強化し、安全と安心の追求を図る。
- (2) 社会参加と地域との交流

#### (三) 地域活動支援センター

利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、創作的活動又は生産的活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に実施し、もって障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

##### 実施拠点

「しぶみ工房」 定員 10名

##### 【取組事項】

- (1) 効果的な就労支援を踏まえたきめ細かな対応、相談支援機能を強化し、安全と安心の追求を図る。
- (2) 社会参加と地域との交流

##### [しぶみ工房]

就労継続B型では就労に向けた取り組みとして、作業が終わった時の報告と困った時の相談ができ

るように支援に取り組んでまいりました。いわゆる報連相に重点を置き、周知促しを徹底したことで、作業中のミスを減らし安全に取り組んでいただけのようになりました。その結果として授産活動収入も増え、月額で一人平均2万円を超える工賃支払いとなり、就労に向けた自信にもつながったと思います。個別支援計画でもより報告相談に重点を置き課題の解決に取り組みました。個別のケア会議ではご本人を交えて繰り返し話し合いを行うことでご本人の希望する生活を明らかにし、作業面だけでなく生活の質の向上も図ってまいりました。主に一人暮らしの方の食生活や衛生面での困りごとを解決したり、人間関係の改善へ支援することでより意欲の向上も見られました。昨年を上回る利用率を確保できた要因の一つだと感じています。今後の取り組みとして、より単価の高い作業の開拓と一般企業への就労を目指したいと思います。

共同生活援助(グループホーム)につきましては、サービス管理責任者と共に支援センターへの周知を徹底した成果で、ひまわりの家に2名の方が新規に入居されましたが、ひまわりの家1名かわばた寮2名の方が退寮されたため、ひまわりの家とかわばた寮ともに欠員が続いている状態です。昨年からの課題である欠員の補充がされませんでしたので、引き続き新規入所者を開拓していきたいと思います。グループホームの夕食では食材宅配サービスの利用を開始。世話人による量や味付けの変動をなくし、日替わりのメニューにより様々な副食を提供でき入居者様からも好評をいただいております。また、共益費につきましては、昨今の物価高騰により水道光熱費や日用品費等の値上げにより負担が増加しておりますので、次年度から共益費を改定させていただきます。

地域活動支援センターにつきましては、精神面でのケアを中心に支援に取り組んでまいりました。安定した日常生活を送るための相談の機会を作り、受診や他の福祉サービスの提案等を行ってきました。また、作業を通して働く喜びや生活を送る上でのやりがいとなったという声も聞かれました。今後は民生委員や総代へ施設の周知を図り、中途障害者や引きこもりの方の開拓を行っていききたいと思っております。

令和6年度は改正があり、報酬単価や配置基準が変わります。安定した経営を行う上で適切に対応していくことが重要になると思います。その上で職員の質の向上のための研修の機会や資格取得に向けた取り組みを充実していきます。必須研修だけでなく、事業所に合った障害特性に関する研修や虐待、事故防止研修も計画し今後もより選ばれる施設づくりを行っていきます。

## 四 公益事業

### 実施拠点

#### 1 居宅介護支援

利用者の心身の状況に応じ、その置かれている環境などの特性を踏まえ、生活の質の確保及びその向上を重視し、健康管理、日常生活動作の維持・回復を図り、適切な計画作成、関係機関との調整などを行いながら、支援する。

### 実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

#### 【取組事項】

(1)安全で安心できる暮らしの継続できるように法令・基準を遵守して、適正なケアプランの作成に努める。

(2) サービス提供環境の見直し・整備

(3) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。

(4) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

#### 2 介護保険法に定める訪問調査

対象者の心身の状況等について、訪問して行う介護認定調査

### 実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

### 3 暮らし元気アップ事業

要支援状態等にある高齢者に対し、その有する能力に応じ自立した日常生活をその居宅において営むことができるよう通所型サービスを行う。生活指導（相談、援助等）、介護予防（運動機能の向上、口腔機能の向上、認知症予防等）、地域交流や生活活動体験などを実施する。

#### 実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

#### 【取組事項】

(1) ご利用者の在宅での生活継続への取り組み

#### 【こしじの里】

居宅介護支援事業所においては、死亡や施設入所、入院等により、契約終了となるケースが多く、前年度平均より5.5名の減となりました。新規依頼の中にはガン末期で在宅での看取りを希望される利用者など、契約してもすぐに終了となるケースが多くありました。独居や高齢者世帯だけでなく、親族との関係が疎遠で協力が得られないケースや養護者による虐待で行政が介入しているケースなど、受け持ちケースが多様化している現状です。地域包括支援センターや保健師、医療機関など、関係機関と連携を図りながら対応しました。令和6年1月1日の能登半島地震では、安否確認の連絡を行い「安心した」との声が聞かれました。災害発生時にはBCPに基づき、適切に対応して参ります。

暮らし元気アップ事業は、令和6年10月に閉所した事業所から利用者を引き継ぎ、登録者数は10名となり、平均稼働も前年度倍の6.6名となりました。介護サービスへの移行者は3名でした。

#### 【おごしの里】

居宅介護支援は平均118.9人/月の実績であり、昨年度より9.9件/月減少。年度途中で職員体制が1名減となったため、特定事業所加算ⅡからⅢへ変更。介護支援専門員1人当たりで担当する件数は1.8件増となりましたが、事業所内で担当引継ぎを実施。新規利用申込に関しても市包括支援センターに相談の上、相談支援を継続することができました。職員の離職予防のためのメンタルヘルス研修、認知症サポート、身寄りのない方への支援に関する研修、意思決定支援等、職員の資質向上を目的に研修への参加にも積極的に取り組みました。サービス向上のため満足度調査を実施。ご利用・ご家族の8割以上の方々から満足しているとの回答を頂きました。その他こしじ地域勉強会、小国ユニティ会議に参加。地域での介護保険サービス利用状況として、地域内の一部地域での対応状況や冬期間の利用状況の現状を報告。地域内事業所との顔の見える関係づくりを継続しました。

暮らし元気アップ事業では市包括支援センターと連携し、登録者数増に至るよう情報共有、連携に努めました。長岡市運動指導員派遣の他、当事業で実施している活動の特色としての歯科衛生士の派遣による活動も継続。専門職による介護予防目的の指導・助言を受け、ご利用者から自宅でできる活動を提案してもらえて効果が感じられる等の声を頂いております。介護職員、管理栄養士が関わることにより在宅での日常生活が維持できるよう相談援助を実施。登録者数は限られているもののご利用者の利用継続につながっております。事業従事者の資質向上のため、市で開催された他事業所との情報交換会、総合事業研修会にも参加。高齢者の栄養、口腔衛生についての知識、技術を深めました。

オレンジカフェ（長岡市認知症カフェ運營業務）では、より多くの方々への事業周知を目的に地域内コミュニティーセンターに事業内容等を案内するポスターを掲示し新規参加者が増えました。地域の方々を利用されているコミュニティーセンターを会場に開催している効果が表れ、顔なじみの関係づくりが可能となりました。さらに、実際に参加しているの方々の中から介護予防出前講座の依頼を受ける等、職員が工夫しながら実施可能な活動への取り組みを継続したことにより地域の社会資源の一つとしての活動も徐々に拡大でき、地域貢献に関する実績へと繋げることができました。

## 第六 各拠点における主な活動実績等

一 法人本部

月	主な活動と内容	その他
4月	5日 経営運営会議	
5月	10日 経営運営会議 23日・24日 法人監査	
6月	1日 理事会 7日 経営運営会議 14日 評議員会 理事会	11日 県社協福祉しごとフェア 21日 法人研修 福祉施設における身体拘束廃止の取組み 講師：新潟青陵大学 准教授里見佳香氏
7月	5日 経営運営会議	13日 障害者雇用納付金関係業務調査 高齢障害求職者雇用支援機構 21日 法人研修 食事介助 嚥下の仕組みと誤嚥予防 講師：新潟青陵大学 教授春口好介氏
8月	9日 経営運営会議	22日 法人研修 薬の正しい使い方 講師：長岡中央総合病院 薬剤部長 近藤宏氏
9月	6日 経営運営会議 27日 理事会	13日 法人研修 成年後見制度について 講師：長岡市成年後見センター 21日 県内外大学・企業情報交換会
10月	11日 経営運営会議 30日 理事会（書面）	16日 福祉施設職員としてACPを理解する 講師：長岡赤十字病院緩和ケアセンター 看護師長 白井直美 看護係長 橋本幸子
11月	8日 経営運営会議 12日 苦情報告会 15日・16日 法人監査	22日 事例で学ぶ認知症 講師：新潟県介護福祉士会 西本 円
12月	6日 経営運営会議 13日 理事会	
1月	10日 経営運営会議	
2月	7日 経営運営会議	
3月	5日 経営運営会議 13日 理事会 22日 評議員会	10日 マイナビ就職セミナー

○役員賠償保険加入状況

保険会社：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

加入保険 : 役員賠償責任保険  
 支払限度額 : 基本補償 100,000千円 (1事故もしくは、保険期間)  
                   コンサルティング費用 10,000千円  
                   免責金額 なし  
 補償対象者 : 法人のすべての役員 (理事・監事)、評議員  
                   および施設長等の重要な役割を担う従業員  
 支払保険金 : 法律上の損害賠償金 争訟費用 初期・訴訟対応費用  
 保険料 : 103,380円 (年間保険料)  
                   (全額法人より支出)

## 二 こしじの里しぶみ園活動実績

### 主な事項

4月 6日 新潟県議会議員不在者投票  
 4月 18日 地域消防団連絡会議  
 4月 20日 長岡市市議会議員不在者投票  
 4月 26日 駐車場投光器 LED 交換工事  
 5月 2日 排煙窓修理4ヶ所  
 5月 14日 家族連絡会“きずな”3日間開催～17日、20日  
 5月 22日 ボランティア代表者の集い  
 5月 26日 令和5年度春新型コロナワクチン接種開始  
 5月 26日 パラマウントベッド90床無償点検  
 6月 1日 対面面会再開  
 6月 9日 従来型ショート棟ベッド灯更新工事  
 6月 19日 夜勤者職員健康診断  
 6月 23日 こしじの里構内消雪さく井工事・取水工事契約  
 6月 28日 県身協議会上中越地区オセロ交流会開催 (当番施設: しぶみ園)  
 8月 28日 A 浴槽ポンプ故障更新  
 9月 1日 ユニットルームエアコンドレン排水不良 2ヶ所修理  
                   災害等職員一斉送信ソフトをビジネスチャットアプリに変更、運用開始  
                   クラウドストレージ開始  
 9月 12日 受水槽清掃  
 9月 13日 ユニット厨房グリストラップ排水不良修理  
 9月 19日 防災設備点検 (東北電気保安協会点検と併せて実施 停電点検) ～20日  
 9月 21日 令和5年度秋新型コロナワクチン接種開始  
 9月 25日 NCT 配線撤去工事  
 9月 26日 電気時計プログラム不具合修正  
 9月 28日 アルコール呼気検査機 定期交換3台  
                   自動ドア点検4ヶ所  
 9月 29日 従来型特養一般浴槽循環オゾン殺菌装置点検  
                   B 浴槽ポンプ故障修理  
 9月 26日 出前講座 (小国はなのか倶楽部)  
 9月 27日 貯湯槽清掃  
                   厨房エアコンドレン排水不良修理  
                   しぶみ園パッケージエアコン液晶パネル交換  
 9月 29日 浴槽水殺菌脱臭循環濾過システム(オゾン装置)点検  
 10月 3日 B 浴槽ポンプ点検  
 10月 6日 防災フェスティバル  
 10月 11日 令和5年度秋新型コロナワクチン接種利用者  
 10月 22日 総合防災訓練 (地域消防団との合同訓練)

- 1 1月 2日 職員健康診断
- 1 1月30日 Wi-Fi 工事～1 2月9日まで
- 1 2月 5日 厨房換気扇工事 消雪井戸関係完了
- 1 2月13日 ほたるユニット給湯器更新 B 浴槽オーバーオール
- 1 2月24日 防災設備保守点検
  - 1月10日 床清掃（～1 2日まで）
  - 1月22日 眠り SCAN 導入
  - 1月23日 県実地指導（しぶみ園）
  - 1月31日 厨房内 LED 工事
- 3月 1日 長岡市調査（ユニット 1月30日身体拘束の件について）
- 3月14日 長岡市介護予防・日常生活総合事業指定第1号事業者指定更新
- 3月27日 消防防災設備点検（～28日まで）

### 行事・見学等

- 4月18日 長岡市介護相談員来園
- 5月10日 長岡市介護相談員来園
- 5月17日 喫茶ひまわり～1 8日
- 5月18日 花いっぱい運動不動沢ボラ合同
- 6月 7日 長岡市介護相談員来園
- 6月16日 利用者意見交換会（ユニット）
- 6月22日 利用者意見交換会（従来）
- 6月29日 裁縫ボランティア
- 7月 4日 草取りボランティア
- 7月 5日 長岡市介護相談員来園
- 7月12日 消火器訓練
- 7月25日 長岡市介護相談員来園
- 8月23日 しぶみ園夏祭り
- 8月24日 非常招集訓練
- 9月 6日 喫茶ひまわり
- 9月 8日 利用者意見交換会（ユニット）
- 9月14日 喫茶ひまわり
- 9月18日 こしじの里敬老会
- 9月19日 長岡市介護相談員来園
- 9月28日 利用者意見交換会（従来）
- 1 0月 2日 紙芝居ボランティア
- 1 0月 4日 長岡市介護相談員来園
- 1 0月 7日 裁縫ボランティア
- 1 0月17日 長岡市介護相談員来園
- 1 1月 6日 長岡市介護相談員来園
- 1 1月15日 長岡市介護相談員来園
- 1 1月16日 障子貼りボランティア
- 1 2月 2日 障子貼りボランティア
- 1 2月 5日 介護相談員来園
- 1 2月15日 利用者意見交換会（ユニット）
- 1 2月20日 介護相談員来園
- 1 2月28日 利用者意見交換会（従来）
  - 1月10日 介護相談員来園
  - 1月12日 新年会

- 1月23日 介護相談員来園
- 2月 3日 裁縫ボランティア
- 2月 5日 介護支援専門員実務研修見学実習1名受入（～7日まで）
- 2月 7日 介護相談員来園
- 2月20日 介護相談員来園
- 3月 2日 裁縫ボランティア
- 3月 6日 介護相談員来園
- 3月12日 利用者意見交換会（ユニット）
- 3月19日 介護相談員来園

### 会議・委員会

運営会議	1 3	虐待防止・身体拘束適正化委員会	1 6
工賃算定評価基準会議		衛生委員会	1 2
入所検討委員会	1 3	地域交流推進委員会	1 2
防災対策委員会	1 2	たんの吸引等安全管理委員会	4
感染症対策委員会	5 2		
事故防止対策委員会	1 5		

### 苦情・意見・要望

受付件数	9		
申出人	利用者	4	
	家族	6	
	その他	1	
内容	説明・情報不足		
	職員の態度	5	
	サービスの内容・量	3	
	権利侵害		
	その他	1	

### 事故・感染症

事故		感染症	
転倒	1 4	新型コロナウイルス	5 3
転落	3	インフルエンザ	
外傷	1	感染症胃腸炎	
誤薬	1 9	疥癬	
その他	4	その他	

※事故・感染 行政報告を行ったもの

## 三 おごしの里活動実績

### 主な事項

- 4月 4日 県議会議員選挙不在者投票
- 4月10日 食器洗浄機ガスブースター更新
- 4月19日 市議会議員選挙不在者投票
- 4月26日 LED 交換取付工事
- 5月 4日 一般浴給湯配管修繕
- 5月 9日 消火器・消火栓取り扱い訓練
- 5月11日 消防設備点検
- 6月 7日 利用者健康診断

- 6月13日 結核検診、自動ドア保守点検
- 6月18日 長岡市避難情報伝達訓練
- 6月20日 特殊浴槽保守点検
- 6月23日 夜勤者健康診断
- 7月 1日 昼間時地域住民・地域消防団参加避難訓練
- 7月 5日 新型コロナウイルスワクチン接種
- 7月 6日 建築物定期調査（防火設備）
- 7月27日 給水給湯設備保守点検、受水槽点検
- 8月 1日 心肺蘇生・AED 取り扱い訓練
- 8月 9日 地下タンク点検
- 9月 2日 厨房・洗濯室給湯配管修繕
- 9月 7日 受水槽加圧給水ポンプ修繕
- 9月22日 アルコール検知器更新
- 9月24日 特養一般浴昇温装置修繕
- 9月26日 昼間時地震想定避難訓練
- 10月 1日 高圧ケーブル引込工事
- 10月 4日 インフルエンザ予防接種
- 10月 5日 特養一般浴昇温装置調整
- 10月23日 BCP 災害対策研修
- 10月25日 園内防除
- 11月 9日 転倒災害自主点検報告（労基署）
- 11月17日 夜間時想定避難訓練
- 11月22日 職員健康診断
- 12月11日 簡易水道検査
- 12月12日 原子力防災訓練  
消防設備点検
- 12月17日 特養一般浴槽ろ過ポンプ更新
- 12月29日 ガス漏れ受信機故障点検
- 12月20日 新型コロナウイルスワクチン追加接種
- 1月 8日 LED 交換取付工事（特養食堂・厨房）
- 1月25日 給水給湯設備定期点検
- 3月14日 長岡市介護予防・日常生活総合事業指定第1号事業者指定更新
- 3月31日 集団給食施設廃業届（長岡保健所）

#### 行事・見学等

- 6月16日 家族協力会（書面報告）
- 7月 4日 七日町集落介護出前講座 職員2名派遣
- 7月23日 おごしの里納涼会
- 7月24日 デイサービスセンターおごしの里夏祭り
- 8月14日 夜櫻会施設訪問
- 9月14日 小国中学校地域貢献活動受け入れ
- 9月16日 すこやかともしびまつり 職員1名ボランティア派遣
- 9月18日 敬老会、おごしの里開設30周年お祝い会
- 11月10日 すこやかともしびまつり WEB 美術館参加
- 11月20日 指導職員交流会 職員1名参加
- 3月24日 利用者懇談会

#### 会議・委員会

運営会議	1 2	虐待防止・身体拘束適正化委員会	1 1
工賃算定評価基準会議		衛生委員会	1 2
入所検討委員会	8	地域交流推進委員会	3
防災対策委員会	1 2	たんの吸引等安全管理委員会	4
感染症対策委員会	4		
事故防止対策委員会	1 2		

#### 苦情・意見・要望

受付件数	5		
申出人	利用者	2	
	家族	3	
	その他		
内容	説明・情報不足	4	
	職員の態度	1	
	サービスの内容・量		
	権利侵害		
	その他		

#### 事故・感染症

事故		感染症	
転倒	1 8	新型コロナウイルス	1 6
転落	3	インフルエンザ	
外傷	1	感染症胃腸炎	
誤薬	3	疥癬	
その他	1	その他	

※事故・感染 行政報告を行ったもの

## 四 しぶみ工房活動実績

### 主な事項

- 4月20日 エレベーター保守点検
- 5月29日 長岡子ども福祉カレッジ実習生受け入れ(10日間)
- 6月16日 かわばた寮県実地指導
- 6月16日 小国ユニティ参加
- 6月18日 長岡市情報伝達訓練(水害)
- 7月 4日 利用者健康診断
- 7月 7日 コロナワクチン6回目接種
- 7月20日 地活風除室修理工事
- 7月27日 エレベーター保守点検
- 8月18日 消火器使用訓練
- 8月23日 1階作業室厨房給湯器更新
- 8月27日 長岡市防災訓練(グループホーム)
- 9月 1日 消防設備点検
- 9月26日 総合防災訓練(地震火災想定)・炊き出し訓練
- 10月11日 新任職員研修
- 10月26日 インフルエンザ予防接種
- 10月30日 地域活動支援センター作業室改修工事
- 11月22日 洪水避難訓練
- 12月12日 業務用高圧洗浄機整備 (真柄財団補助金)

- 1月18日 エレベーター保守点検  
3月28日 就労継続支援B型指定更新

### 行事・見学等

- 4月 5日 利用者説明会  
4月10日 花見会  
5月 2日 地域奉仕活動・野外給食  
6月 5日 森林公園新緑ウォーク  
6月26日 高等支援学校実習生受け入れ(5日間)  
7月14日 日帰りレク(花火館)  
7月22日 グループホーム交流会(バーベキュー)  
8月 3日 愛とヒューマンのコンサート  
8月10日 納涼会  
9月16日 すこやかともしびまつり 職員1名ボランティア派遣  
10月10日 長岡市役所職場実習(利用者1名)  
12月14日 心の健康相談(柏崎厚生病院松田院長)  
12月15日 クリスマス・忘年会  
1月 4日 新年お楽しみ会  
2月19日 北陸学園実習生受け入れ(2名、10日間)

### 会議・委員会

運営会議	12	虐待防止・身体拘束適正化委員会	3
工賃算定評価基準会議	11	衛生委員会	
入所検討委員会	7	地域交流推進委員会	9
防災対策委員会	6	たんの吸引等安全管理委員会	
感染症対策委員会	5	ケース援助会議	9
事故防止対策委員会	3	世話人会議	2

### 苦情・意見・要望

受付件数	2		
申出人	利用者		2
	家族		
	その他		
内容	説明・情報不足		
	職員の態度		1
	サービスの内容・量		1
	権利侵害		
	その他		

### 事故・感染症

事故		感染症	
転倒		新型コロナウイルス	5
転落		インフルエンザ	
外傷		感染症胃腸炎	
誤薬		疥癬	
その他		その他	

※事故・感染 行政報告を行ったもの

## 実績資料

第三-四、五					
事業執行体制、組織体制に関わる職員配置状況					令和6年3月31日現在
	施設・事業所別	職種	配置人数	常勤職員	短時間勤務職員
こしじの里しぶみ園	介護老人福祉施設 短期入所生活介護	園長	1	1	
		補佐	1	1	
		総務職員	2	1	1
		生活相談員	3	3	
		看護職員	6	3	3
		機能訓練指導員	1	1	
		介護職員	28	20	8
		補助員	5		5
		給食栄養職員	6	6	
		小計	53	36	17
	介護老人福祉施設 ユニット型	生活相談員	1	1	
		看護職員	2	2	
		介護職員	20	16	4
		補助員	1		1
		給食栄養職員	1	1	
	小計	25	20	5	
	しぶみ園 施設入所 生活介護 短期入所	看護職員	1	1	
		支援員	8	7	1
		給食栄養職員	1	1	
		小計	10	9	1
	通所介護	生活相談員	2	2	
		看護職員	1		1
		介護職員	7	5	2
		小計	10	7	3
	訪問介護 居宅介護	訪問介護員	3	3	
	居宅介護支援	介護支援専門員	4	4	
	こしじの里しぶみ園全体	合計	105	79	26
おごしの里	介護老人福祉施設 短期入所生活介護	統括	1	1	
		園長	1	1	
		総務職員	2	2	
		生活相談員	2	2	
		看護職員	5	3	2
		介護職員	19	15	4
		管理員	6		6
		給食栄養職員	7	5	2
		小計	43	29	14
	通所介護	生活相談員	2	2	
		看護職員	2		2
		介護職員	7	4	3
		補助員	4		4
		運転員	1		1
	小計	16	6	10	
	訪問介護	訪問介護員	3	1	2
居宅介護支援	介護支援専門員	3	3		
おごしの里全体	おごしの里全体	65	39	26	
しぶみ工房	就労移行支援 就労継続B型 地域支援センター 共同生活援助	管理者	1	1	
		支援員	5	3	2
		世話人	6		6
		給食栄養職員	2	1	1
		合計	14	5	9
法人全体	合計	184	123	61	
※兼務職員等は主として従事する職種に計上					
※サービス提供責任者は訪問介護員に、サービス管理責任者は支援員に含む					
※実数記載					
※2名産休・育休 上記含まず					

第五-二-1				
介護老人福祉施設				令和6年3月31日現在
	こしじの里	こしじの里ユニット	おごしの里	計
在籍者数計	49	40	39	128
男性	10	15	6	31
女性	39	25	33	97
平均年齢計	90.4	92.0	91.4	91.2
男性	84.4	90.9	92.5	89.1
女性	91.9	92.6	91.4	91.9
平均要介護度計	4.1	4.0	3.8	4.0
1				0
2				0
3	12	12	15	39
4	20	17	17	54
5	17	11	7	35
月別延べ利用者数計	17,258	13,862	15,136	46,256
4月	1,377	1,125	1,232	3,734
5月	1,400	1,169	1,244	3,813
6月	1,386	1,139	1,206	3,731
7月	1,432	1,221	1,233	3,886
8月	1,472	1,240	1,276	3,988
9月	1,436	1,167	1,208	3,811
10月	1,541	1,166	1,292	3,999
11月	1,468	1,105	1,250	3,823
12月	1,460	1,117	1,325	3,902
1月	1,401	1,134	1,374	3,909
2月	1,404	1,099	1,259	3,762
3月	1,481	1,180	1,237	3,898
平均利用者数	47.3	38.0	41.5	252.8
退所者数	11	18	16	45
入所者数	11	18	15	44
待機者	117	54	101	272
※特記事項・補足				
在籍者のうち旧措置入所者 こしじの里1名				
延べ利用者数は、空床期間、入院期間除く				

第五-二-2				第四-三-2			
障害者支援施設				障害福祉在宅サービス(在宅)			
しぶみ園				こしじの里しぶみ園		令和6年3月31日現在	
	施設入所	生活介護	短期入所	居宅介護	重度訪問介護	移動支援	
在籍者数・利用実数計	10		6	3	0	0	
男性	7		5	1			
女性	3		1	2			
平均年齢計	73.7		50.3	54.6			
男性	75.5		49.2	65.0			
女性	68.3		56.0	49.5			
平均障害程度区分計							
1							
2							
3	2		1	1			
4	1			1			
5	2		1				
6	5		4	1			
月別述べ利用者数計	3650	2692	241	758	0	0	
4月	300	220	20	58			
5月	310	230	21	59			
6月	300	220	22	65			
7月	310	230	18	66			
8月	310	227	20	64			
9月	300	220	21	66			
10月	310	229	19	63			
11月	300	220	19	62			
12月	300	230	19	66			
1月	310	226	18	64			
2月	290	210	19	59			
3月	310	230	25	66			
平均利用者数	10.0	10.0	0.66	2.42			
退所者数							
入所者数							
待機者	1						
※特記事項							
生活介護稼働日：月の日数－8日							

第五-三-1							
高齢福祉サービス(在宅)							令和6年3月31日現在
	こしじの里			おごしの里			計
短期入所生活介護	介護	予防	小計	介護	予防	小計	合計
月別延べ利用者数	6,061	175	6,236	2,572	27	2,599	8,835
4月	548	5	553	209	0	209	762
5月	565	15	580	199	0	199	779
6月	550	13	563	159	2	161	724
7月	502	12	514	144	0	144	658
8月	403	7	410	189	0	189	599
9月	354	11	365	204	0	204	569
10月	557	21	578	204	2	206	784
11月	526	19	545	201	8	209	754
12月	519	19	538	226	2	228	766
1月	531	18	549	312	2	314	863
2月	497	17	514	253	9	262	776
3月	509	18	527	272	2	274	801
平均利用者数・日	16.6	0.5	17.1	7.0	0.0	7.0	24.2
平均要介護度	2.8	0.4	2.7	2.5	1.9	2.5	
送迎者数	2,320	138	2,458	959	20	979	3,437
通所介護	介護	予防	小計	介護	予防	小計	合計
月別延べ利用者数	4,846	1,595	6,441	5,980	348	6,328	12,769
4月	411	102	513	491	32	523	1,036
5月	444	131	575	560	38	598	1,173
6月	420	136	556	540	38	578	1,134
7月	434	135	569	559	34	593	1,162
8月	457	132	589	536	29	565	1,154
9月	431	130	561	539	29	568	1,129
10月	399	135	534	530	25	555	1,089
11月	390	141	531	527	22	549	1,080
12月	387	138	525	513	29	542	1,067
1月	353	138	491	458	34	492	983
2月	352	143	495	252	15	267	762
3月	368	134	502	475	23	498	1,000
平均利用者数・日	15.5	5.1	20.6	19.1	1.1	20.2	40.8
平均要介護度	2.1	0.4	1.7	2.2	1.9	2.1	
訪問介護	介護	予防	小計	介護	予防	小計	合計
訪問回数	1,967	273	2,240	1,999	61	2,060	4,300
4月	151	17	168	181	4	185	353
5月	170	19	189	206	7	213	402
6月	166	16	182	202	8	210	392
7月	152	19	171	186	4	190	361
8月	164	19	183	166	9	175	358
9月	212	18	230	193	4	197	427
10月	229	18	247	193	5	198	445
11月	171	23	194	184	4	188	382
12月	141	27	168	149	4	153	321
1月	151	32	183	113	4	117	300
2月	129	32	161	110	4	114	275
3月	131	33	164	116	4	120	284
平均利用件数・日	6.3	0.9	7.2	6.4	0.2	6.6	13.7
※特記事項							
短期入所生活介護には空床利用を含む実績							

第五-三-3 就労支援事業								令和6年3月31日現在		
		しづみ工房						かわばた寮	ひまわりの家	共同生活援助計
		稼働日	就労移行	就労継続B型	計	稼働日	地域活動支援センター			
在籍者数計		270			27	242	5	5	6	11
男性				15	15		3	5		5
女性				12	12		2		6	6
平均年齢計				43.5	43.5		60.1			43.0
男性				46.5	46.5		62.7	39.8		39.8
女性				40.4	40.4		57.5		46.2	46.2
平均障害支援区分計								5	6	11
1								2	0	2
2								2	5	7
3								1	1	2
4										
5										
6										
月別延べ利用者数		270		5,776	5,776	240	351	1,791	1,310	3,101
4月		22		468	468	20	29	147	115	262
5月		23		454	454	20	28	148	105	253
6月		22		458	458	20	30	150	90	240
7月		23		450	450	20	29	153	94	247
8月		23		475	475	20	31	146	108	254
9月		22		455	455	20	30	149	88	237
10月		23		485	485	21	29	155	90	245
11月		22		474	474	20	28	148	89	237
12月		23		519	519	21	31	150	122	272
1月		23		527	527	19	27	149	122	271
2月		21		484	484	19	29	144	116	260
3月		23		527	527	20	30	152	171	323
平均利用者数			0.0	21.4	21.4		1.5	4.91	3.59	8.5
※特記事項										

第五-三-4							
公益事業							令和6年3月31日現在
	こしじの里			おごしの里			計
居宅介護支援							
	介護	介護予防	小計	介護	介護予防	小計	合計
計画作成数	1,344	372	1,716	1,286	141	1,427	3143
4月	118	26	144	116	13	129	273
5月	117	27	144	116	13	129	273
6月	112	28	140	113	14	127	267
7月	115	30	145	112	13	125	270
8月	115	30	145	110	13	123	268
9月	113	32	145	108	11	119	264
10月	116	35	151	104	11	115	266
11月	116	33	149	105	11	116	265
12月	110	33	143	101	11	112	255
1月	108	32	140	99	10	109	249
2月	100	33	133	102	11	113	246
3月	104	33	137	100	10	110	247
平均利用者数・月	112.0	31.0	143.0	107.2	11.8	118.9	261.9
平均要介護度	2.2	1.8		2.4	1.8		
訪問調査受託							
	施設	在宅	小計	施設	在宅	小計	合計
月別延べ利用者数	20	35	55	14	2	16	71
4月	5		5	1		1	6
5月		3	3			0	3
6月	1	1	2	3	1	4	6
7月	1	4	5			0	5
8月	1	1	2		1	0	2
9月		3	3			0	3
10月		5	5	2		2	7
11月	4	3	7	2		2	9
12月		4	4	1		1	5
1月	2	3	5	3		3	8
2月	2	4	6			0	6
3月	4	4	8	2		2	10
くらし元氣アップ事業			小計			小計	合計
月別延べ利用者数			332			196	528
4月			11			17	28
5月			22			19	41
6月			28			25	53
7月			22			18	40
8月			24			17	41
9月			33			16	49
10月			22			17	39
11月			23			21	44
12月			35			14	49
1月			36			13	49
2月			34			6	40
3月			42			13	55
平均利用者数・月			27.7			16.3	42.0
※特記事項							